

留学生専門教育

はじめに. 教育・研究活動の概要とその特色

留学生専門教育では、留学生の勉学・研究をサポートするために、日本語の授業やオフィスアワーを設けている。日本語の授業では、論文作成法、発表や議論の仕方などを学ぶ。とくに論理的思考の訓練に重点をおき、質を落とさずにわかりやすく文章(論文)を書けるようにすることを目指している。

東条 佳奈 講師

1984 年生。大阪大学大学院文学研究科文化表現論専攻博士後期課程修了。博士(文学)。文学研究科助教、目白大学社会学部社会情報学科講師、大阪大学大学院文学研究科助教を経て、2022 年 4 月大学院人文学研究科 現職。専攻:現代日本語学

1. 論文

黒田航, 相良かおる, 東条佳奈 他「要素の重複と不連続性を扱える抽出型の語構成要素解析 並列分散型形態素解析の提案」, 言語処理学会年次大会発表論文集(Web) 29th, 2023/3

相良かおる, 黒田航, 東条佳奈 他「医療縮約表現-医療記録に含まれる句や節に相当する合成語-」, 言語処理学会年次大会発表論文集(Web) 29th, 2023/3

麻子軒, 相良かおる, 黒田航, 東条佳奈, 他「実践医療用語における語構成要素の結合順序に関する量的調査」『計量国語学』第 33 巻 7 号, pp. 564-565, 2022/12

東条佳奈, 「人物を表わす名詞の助数詞的用法: 「選手」と「投手」を例に」『藝文研究』第 123 巻 1 号, 慶應義塾大学藝文学会, pp. 92-108, 2022/12

2. 著書 (単著・編著)

なし

3. 翻訳・書評・解説・辞典項目等 (データベース、コーパス等の開発を含む)

東条佳奈, 黒田 航, 相良 かおる, 他「実践医療用語 語構成要素語彙試案表 Ver.2.0 の構築」『言語資源ワークショップ発表論文集 = Proceedings of Language Resources Workshop 1』, pp.109-116, 2023/3

相良かおる, 黒田航, 東条佳奈 他「実践医療用語_語構成要素語彙試案表 Ver.3 の公開にむけて」, 言語資源ワークショップ発表論文集 1, pp.309-318, 2023/3

4. 口頭発表

東条佳奈 他「医療記録における縮約表現の量的構造—医療用語との比較—」言語資源ワークショップ 2022, 2022/8/31

東条佳奈 他「医療記録における縮約表現の分析」言語資源ワークショップ 2022, 2022/8/31

東条佳奈 他「実践医療用語_語構成要素語彙試案表 Ver.2.0 の構築」言語資源ワークショップ 2022, 2022/8/30

5. 受賞歴(2022)

なし

6. 科学研究費補助金の獲得状況(研究代表者となったもの)

6-1. 2019 年度～2023 年度、若手研究、代表者:東条佳奈

課題番号:19K13184

研究題目:現代日本語における「名詞の助数詞的用法」の実態解明を目指した雑誌コーパスの構築

7. その他の外部資金の受け入れ状況(研究代表者となったもの)

なし

8. 研究会等の活動、国際共同研究、分野横断的研究

なし

9. 地域連携による研究活動状況

なし

10. 各種審議会委員（国・自治体）等の引き受け状況

なし

11. 外部役員等の引き受け状況

日本語文法学会・総務委員 2022 年 4 月～現在に至る

国際交流センター

MOHAMMAD MOINUDDIN 助教

1979 年生。2010 年、デリー大学(インド) M.phil の学位を取得。同論文の加筆修正版 2012 年に単著として出版。2013 年、博士(文学、大阪大学)を取得。2015 年、ジャワハルラー・ネルー大学(インド)、ゲスト・レクチャー。2015 年 12 月から 2018 年 3 月、大阪大学大学院文学研究科特任助教。2019 年より同助教。2021 年 1 月から 7 月、デリー大学(インド) ゲスト・レクチャー(オンライン)、2022 年 4 月より大阪大学大学院人文学研究科助教。専攻：近現代日本文学、原爆文学、ポストコロナ国際交流および国際理解。

1. 論文

MOHAMMAD MOINUDDIN “Exploring the New Horizon for Literature Research in the Age of Society 5.0” *“International Exchange in the Age of Society 5.0” (Proceedings of 4th International Seminar for the Promotion of International Exchange)*, pp.4-9, 査読有, 2023/3/31

2. 著書(単著・編著)

MOHAMMAD MOINUDDIN, EIJIRO DŌYAMA (eds.), *International Exchange in the Age of Society 5.0*, International Affairs Office, School of Letters / Graduate School of Humanities, Osaka University, 2023/3/31

MOHAMMAD MOINUDDIN, TARO MOCHIZUKI (eds.), *Coping with the “New Normal” and the Promotion of International Exchange*, International Affairs Office, School of Letters / Graduate School of Humanities, Osaka University, 2022/7/31

3. 翻訳・書評・解説・辞典項目等(データベース、コーパス等の開発を含む)

なし

4. 口頭発表

MOHAMMAD MOINUDDIN, “Potential of Foreign Nationals during Disasters: With Reference to Mosques in Osaka, Japan (“Refugees and Migrants in the International Society with Disasters”)”, 第 4 回復興デザイン会議全国大会『災間を生きる都市』, 復興デザイン会議(主催)東京大学次世代都市国際連携研究機構(共催), 東京大学本郷キャンパス(オンライン), 2022/11/26

MOHAMMAD MOINUDDIN, “COVID-19 Crisis and the Higher Education Institutions Response to the Internationalization and Students’ Mobility”, IDRI 2022 – The 12th International Conference of the International Society for the INTEGRATED DISASTER RISK MANAGEMENT – , The Integrated Disaster Risk Management (IDRI) Society, Babeş-Bolyai University of Cluj-Napoca(オンライン), 2022/9/22

MOHAMMAD MOINUDDIN, “Disaster Response of two Mosques in Osaka, Japan (共同発表)”, IDRI 2022 – The 12th International Conference of the International Society for the INTEGRATED DISASTER RISK MANAGEMENT – , The Integrated Disaster Risk Management (IDRI) Society, Babeş-Bolyai University of Cluj-Napoca(オンライン), 2022/9/21

5. 受賞歴(2022 年度)

なし

6. 科学研究費補助金の獲得状況(研究代表者となったもの)

なし

7. その他の外部資金の受け入れ状況(研究代表者となったもの)

なし

8. 研究会等の活動、国際共同研究、分野横断的研究

なし

9. 地域連携による研究活動状況

なし

10. 各種審議会委員（国・自治体）等の引き受け状況

なし

11. 外部役員等の引き受け状況

なし